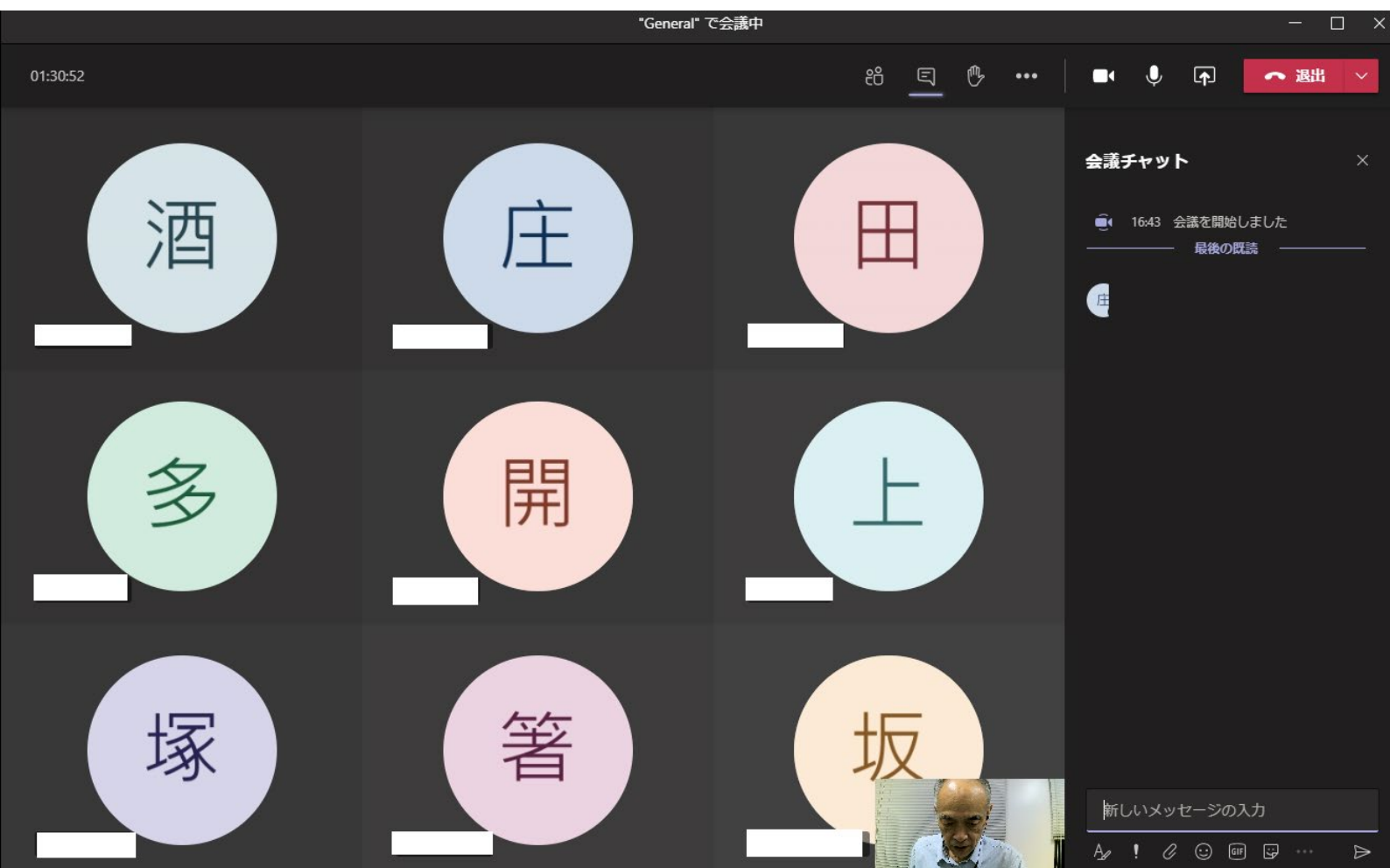


20m03H発表記録

準備



学力の登場と学力論争

[illegible]

各班ワークシート複数資料用(まとめ)

1) (班内) まとめ

班のテーマ (学力の整備と学力論争)

■テキスト (新しい時代の教育方法)

まとめ (学力の整備と学力論争)

- ・「学力」は学力が「学力」なイメージから作られた
- ・教科学習の基礎となるもの
- ・実生活に役立つ 3R's
- ・応用・発展・応用
- ・知識・関心等の基礎

基礎
学力

■肯定的 web (学力と学力研究論文より)

まとめ (意欲・関心・態度を伸ばすこと)

- ・基礎を重視し学力を伸ばすだけではダメ
- ・能動的な態度を身につけさせる
- ・問題解決の経験が必要となるもの
- ・問題解決能力の下位に位置づけられてきた

今日の考え方に近い。

学力の考え方の根拠が

2) 全体発表 (模擬授業) を聞いて、自分の班の取り組みについて感じたことをのべよ。

発表の準備がもう済んでいた

とあった。少し焦りの部分があった。

一方で、要点を絞って自分の意見を

述べられたのは良かった。

■ 5 段階班の自己評価 (3)

■否定的 web (学力と学力研究論文より)

まとめ (学力の整備と学力論争)

- ・人間を多面的心理に近づけるもの
- ・人間の尊厳につなげる
- ・教育的・発達の価値がある
- ・これに引き継ぐべき知識・内容も

基礎
学力

旧教育の考え方

■班としての要約

まとめ (学力の整備と学力論争)

- ・意欲・関心・態度・問題解決能力は
- ・「学力・能力」論につながっており、

今は新教育・学力・能力の考え方が
強まっている。

キーワード	10~20 語	明日中に	概念系統図
・「学力」	・ 算	・ 意欲	・ 何より大事
・ 学力論争	・ 権限	・ 関心	・
・ 基礎学力	・ 批判	・ 態度	・
・ 学力	・ 新教育	・ 新学習成果	・
・ 学力	・ 学力・能力	・ 要領	・

2**) 今日の授業で、気づいたこと、感じたことをのべよ。

「学力」というテーマについて

昔から議論されてきた。「学力」をどう

使うのかは今、求られていると考えた。

問題解決学習論争

[illegible]

各班ワークシート複数資料用(まとめ)

1) (班内) まとめ

班のテーマ (問題解決学習論争)

■テキスト (新しい時代の教育方法)

まとめ (解決困難に対して、子どもたちが)

- ・ どのように捉えるかの見通しをするような
- ・ 指導が必要

・ 子どもたちが主体的に問題に取り組むようになるには、子どもたちが自己評価をする必要がある

・ 問題解決学習をすべき

・ でも、時代の方は問題解決学習から系統学習へ移行した

■肯定的 web (ティーチング)

まとめ (教師が生徒に答えを教えることで)

- ・ 成り立つ指導方法

- ・ 教師が生徒に教える際に
- ・ 論理的に、理由・方法・手段を
- ・ 分かりやすく伝えることが大切

≡ 系統学習(?)

2) 全体発表 (模擬授業) を聞いて、自分の班の取り組みについて感じたことをのべよ。

問題解決学習の方が系統学習より生徒の為なのではと、本を読んで思っていたが、時間的に問題解決学習をするのは、難しいのだなと思った。

■否定的 web (コーチング)

まとめ (生徒が自分で答えを考えさせる)

- ・ 指導法

- ・ 教師は生徒がどう考えているのか、
- ・ 生徒の意見に対して、疑問や質問を投げかける

- ・ 成果を認めて褒める

等といったことが大切

≡ 問題解決学習(?)

■班としての要約

まとめ ()

- ・ 問題解決学習と系統学習の両方と
- ・ 用いて学習すべきでは

・ 時間が足りるのかという問題

キーワード	10~20 語	明日中に	概念系統図
・ 問題解決	・ 問題解決	・ 主体的	・
・ 学習推進	・ 学習論争	・	・
・ 系統学習	・ 知識観	・	・
・ アクティフ・ラーニング	・ 系統性	・	・
	・ 「問題解決」の質	・	・

2**) 今日の授業で、気づいたこと、感じたことをのべよ。

■ 問題解決学習だけでは、自分から問題と取り組もうとするやうな気がない子どもに対しては、向かないのではと思った。

やはり、系統学習は必要なのだと改めて思った。

授業改造の試み

“General” で会議中

01:12:25

制御を要求

会議チャット

16:43 会議を開始しました
最後の既読

新しいメッセージの入力

1/1 ページ 854 文字 日本語

フォーカス

100%

教育方法論 m 第 3 回 テーマ「授業改造の試み」

(1)→「新しい時代の教育方法」から

●授業改造は教師が中心となり行われ、第一次世界大戦後から活発になった

1) 旧来教育の徹底の動きに対し「新しい」「自由」な教育方法を求めた

2) 時代に即応した人材養成のために人間形成の新しい方法を模索

3) 海外の教育情報を入手して欧米の教育理念を研究し、自身の教育実践に取り入れることを試みる

4) 教師達は上手く教える方法、教授形態、教材を工夫し従来の教科の枠組みを超えた新しい実践を開発

(2)→生活が学習における合科的指導の在り方とその単元開発に関する研究

●学科学習：ドイツで行われていた「合科教授」を起点として大正時代に木下尚江により形成されたもの。

教科に分化されることなく子ども達の日常を学習の対象とすることで育むことが目的。

1) 家族の「だんらん」の様子を模倣する」という考え

2) 子供の思想に寄り添って子ども主体で学習を展開すること

3) 子供の実生活と学習を結びつける

4) 自ら行動したからこそ得られる体験から学びを深めること

(3)→その他のネット資料から長所・短所

●合科学習では子ども達がその環境によって自己の学習を進展させなければならないため、教師が子どもの環境を鑑みることによって子どもの自立的学習を導くことが必要

各班ワークシート複数資料用(まとめ)

1) (班内) まとめ

班のテーマ (授業改造の試み)

■テキスト (新しい時代の教育方法)

まとめ 授業改造は教師を中心に行われた

・ 臣民教育の徹底の動きに対し「自由」「新しい」

教育方法を求めた。

・ 時代に適応させるため海外から情報を入手している。

・ 海外での教育モデルを日本の生徒に合うように教師は努力している

■肯定的 web (生活や学習における合科的指導
まとめ (のやり方とその単元関係に関する研究)

・ 合科学習: ドイツで行われていた「合科授業」

・ を起点として大正時代で形成

・ 家族の「だんらん」の構図を模倣する」という考え

・ 子どもの思いに寄りそって考えていく

・ 自ら行動したからこその得られる
体験から学びを深めていく

2) 全体発表 (模擬授業) を聞いて、自分の班の取り組みについて感じたことをのべよ。



・ 海外から取り入れるのも、どれを取り入れるかを選ばなければならぬ。

・ 一方的な授業をするのはとてもつらいので気を付けること。

■ 5段階班の自己評価 (

5

)

■否定的 web (木下竹次の合科学習に関する考察
まとめ (一教師の指導性を中心に))

・ 合科学習では環境によって変化してしまう

・ ので教師が子どもの環境を整える

・ 一方的ではなく一緒に考えていく

・ 学校を「愉快なる学習場」と感じさせる

→ 「楽しい授業」とつながる!

・ 環境の質 = 活動の質になっってしまう

■班としての要約

まとめ (

・ 海外からとり入れ、日本の子どもたちに合うよう

工夫し、それをもとに教師が実行すること

・ 海外のものを取り入れるだけではダメ

・ 子どもたちは全員同じ環境にある

・ 教師は授業形態、方法、教材を

工夫し続けることが大切

キーワード 10~20 語 明日中に 概念系統図

・ 臣民教育 ・ 「自由」「新しい」 ・ 授業改造 ・ 人間形成

・ 家庭 ・ 環境 ・ 合科学習 ・ 工夫

・ 授業方法 ・ 授業形態 ・ 教材 ・ 海外

・ 日本 ・ 自らの体験 ・ 木下竹次 ・ 大正時代

・ 環境の質 ・ 活動の質 ・ 子の思い ・ 教育モデル

2**) 今日の授業で、気づいたこと、感じたことをのべよ。

■ 大正時代よりも前は子どもの意見は全く無視だったが、以降は子どもの気持ちや第一に考えなければならぬ。どのような環境でも学校では平等になるように変わってほしいと感じた。

ICT活用例

01:32:03 "General" で会議中

20mICTPlan.docx - Word

1. 単元
m02H04ICT活用例

2. テーマ
授業に取り入れる ICT の活用

3. ICT 活用のねらい

- ・授業内容を分かりやすく伝えること
- ・生徒が能動的かつ創造的に学習を進められること

4. ICT 活用例

学習内容	指導過程・学習活動	指導上の留意点
ICT 活用の場面 (授業でのプロジェクター)	ICT 活用の手順 ○プロジェクターやそれで映し出す教材の準備 ・最近のプロジェクターでは黒板に映し出すものも出ている ○それを使った授業 ・これを使うことにより、板書の時間が減り授業のスピードを速くすることができ、その分生徒に与えてあげられる時間も増える ・視聴覚教材なども比較的楽に使えるので授業の幅を広げることができる	○あまり凝りすぎない ○

1/1 ページ 441 文字 日本語

会議チャット

16:43 会議を開始しました

最後の既読

新しいメッセージの入力

各班ワークシート (模擬授業まとめ)

改善したこと、すべきことを書くこと (指導案の要約ではない)

1) (班内) まとめ

班のテーマ (ICT活用あり)

■学年・単元・本時の内容 (提示する教材)

- ・ 全学年
- ・ 座学をやる教科書
- ・ プロジェクターを使った授業

■目標・内容・指導の概略等

プロジェクターを使う事により、授業のスピードを早くすることができ、その分生徒同士で話し合ったりする機会をいやす。

2) 全体発表 (模擬授業) を聞いて、自分の班の取り組みについて感じたことをのべよ。

■

2*) 今日の授業で、ポイントと思ったことをのべよ。

■ 今はいろいろな学習に力を入れているため、機械ができてきている。おかげで、もっと普及していけばいいと思う。

■教材・板書計画、評価の観点・規準等

最近では黒板に写せるプロジェクターも出てきており、要領よくすることが可能である。また、あまりやりすぎると準備が大変であり、逆に思にくなるので注意が必要である。

■工夫した点、出典等

教員の負担も考えなければいけない。

■模擬授業を実践してみて感じたこと、わかったこと

2**) 今日の授業で、気づいたこと、感じたことをのべよ。

■ 今までの授業を承けていくだけでなく、ICTなど新しいものをとり入れていけば、もっと深く教育できるのではないかと考える。

ICT活用例

"General" で会議中

01:42:55

制御を要求

会議チャット

16:43 会議を開始しました
最後の既読

新しいメッセージの入力

1/2 ページ 443 文字 日本語

100%

4 箸 酒 田 上 庄

Microsoft Word 2016

Century (本文の) 10.5 A⁺ A⁺ A⁺ A⁺

あア亜 あア亜 あア亜
標準 行間詰め 見出し 1

図の形式 テーブル デザイン レイアウト

共有 コメント

検索 変換 ディクテーション 秘密 秘密度 エディター

自動保存 印刷 貼り付け

ファイル ホーム 挿入 デザイン レイアウト 参考資料 差し込み文書 校閲 表示 ヘルプ

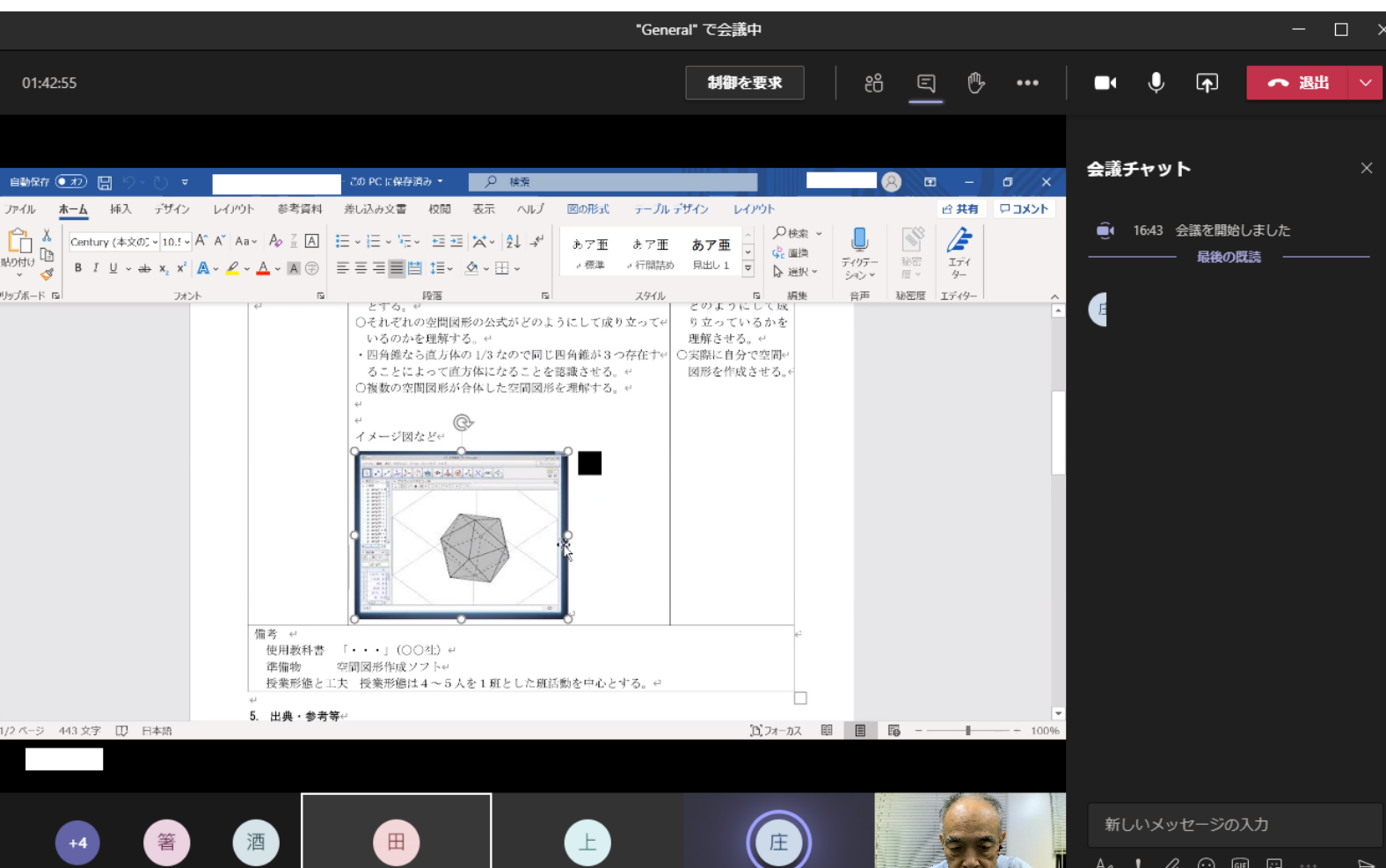
段落 スタイル

とする。
○それぞれの空間図形の公式がどのようにして成り立っているのかを理解する。
・四角錐なら直方体の 1/3 なので同じ四角錐が3つ存在することによって直方体になることを認識させる。
○複数の空間図形が合体した空間図形を理解する。
イメージ図など

どのようにして成り立っているかを理解させる。
○実際に自分で空間図形を作成させる。

備考
使用教科書 「・・・」(〇〇社)
準備物 空間図形作成ソフト
授業形態と工夫 授業形態は4〜5人を1班とした班活動を中心とする。

5. 出典・参考等



各班ワークシート複数資料用(まとめ)

1) (班内) まとめ

班のテーマ (ICT 活用例) ■テキスト (新しい時代の教育方法) まとめ

テキストに記述がないため割愛

■肯定的 web (<https://g-apps.jp/column/ict-merit-demerit/#:~:text=ICT%E6%95%99%E8%82%B2%E3%81%A8%E3%81%AF%E3%80%81%E3%83%91%E3%82%BD%E3%82%B3%E3%83%B3,%E3%80%8C%E6%83%85%E5%A0%B1%E9%80%9A%E4%BF%A1%E6%8A%80%E8%A1%93%E3%80%8D%E3%81%A7%E3%81%99%E3%80%82>) まとめ

- ・今までの授業では実現できなかったことができる。
- ・生徒も教員も楽しみながら、効率的な学習ができる。
- ・生徒が授業に積極的に参加しやすくなる。
- ・教員の時間短縮が図られる。
- ・教員間の時間短縮が図られる。

2) 全体発表 (模擬授業) を聞いて、自分の班の取り組みについて感じたことをのべよ。

■他の班の内容より自分たちの班の内容は薄かったですが、ICT を活用した実用的な例を示すことができたと思います。

■否定的 web (<https://g-apps.jp/column/ict-merit-demerit/#:~:text=ICT%E6%95%99%E8%82%B2%E3%81%A8%E3%8E5%A0%B1%E9%80%9A%E4%BF%A1%E6%8A%80%E8%A1%93%E3%80%8>) まとめ

- ・端末購入の負担がある。
- ・ICT 機器の管理や故障対応で教員の負担増につながることもある。
- ・PC の機種や性能によって授業展開が遅くなる可能性がある。

■班としての要約

まとめ

- ・ICT は生徒と教師が楽になることがあるが逆の可能性も考えられる。
- ・ICT の設備をそろえることによって授業展開に影響が出る。

キーワード 10~20 語 明日中に

- ・ICT・積極的・時間短縮
- ・端末購入・金銭的負担・メリット
- ・デメリット・効率的・ネットワーク環境
- ・機器の故障・機器の不備・
- ・

2**) 今日の授業で、気づいたこと、感じたことをのべよ。

■

5段階班の自己評価 (3)

C19049 庄司啓佑

確認問題02

"General" で会議中

制御を要求

会議チャット

16:43 会議を開始しました
最後の既読

新しいメッセージの入力

確認問題 02

(1) 江戸時代の庶民教育の機関であった寺子屋での主たる学習内容を3つ挙げよ。

- ・読（読むこと / reading）
- ・書（書くこと / writing）
- ・算（計算すること / arithmetic）

(2) 次の空欄を埋めよ。

（明治期の）文部省は、（西洋）からの応急的な（教育方法）の移入・普及をはかるとともに、その背景にある（教育理論）を紹介を行った。その大半は（アメリカ）の教授法書であり、（師範学校）の教科書として広く利用された。（スコット）がもたらした「塞見敦氏（庶物指数）」は（ペスタロッチ）主義に基づく（実物教授）の具体的な方法を示したものであり、当時の（先進的）な教授法書であった。

(4) 「学制の教育理念」「ヘルバルト主義教授法」「大正新教育運動」のうちの1つについて簡潔に述べよ。

大正新教育運動：
教育勅語の発布、教科書の固定化による「臣民教育」を徹底しようという動きに対し、「新しく」「自由な」教育を求めた運動。
画一的な教育法に統制されたことに批判が高まり、最終的に教育目的に抵触しない程度に、教育法にある程度変更を加えてもよいという改革が起こった。

確認問題 02

(1) 江戸時代の庶民教育の機関であった寺子屋での主たる学習内容を3つ挙げよ。

- ・ 読（読むこと / reading）
- ・ 書（書くこと / writing）
- ・ 算（計算すること / arithmetic）

(2) 次の空欄を埋めよ。

（明治期の）文部省は、（西洋 ）からの
 応急的な（教育方法 ）の移入・普及をはか
 るとともに、その背景にある（教育理論 ）
 紹介を行った。その大半は（アメリカ ）の
 教授法書であり、（師範学校 ）の教科書と
 して広く利用された。（スコット ）がもた
 らした「塞児敦氏（庶物指数 ）」は
 （ペスタロッチ）主義に基づく（実物教授）
 の具体的な方法を示したものであり、当時の
 （先進的 ）な教授法書であった。

(3) 森有礼が師範学校運営に掲げた三気質をあげ、
 森がこれにより教師に求めたものを簡潔に説明
 せよ。

三気質：
 「順良・信愛・威重」

教師に求めたもの：
 天皇制国家主義を求める「臣民」の
 育成に全力を尽くす献身的没我。

（没我：我を忘れ没頭すること）

(4) 「学制の教育理念」「ヘルバルト主義教授法」「大
 正新教育運動」のうちの1つについて簡潔に述べ
 よ。

大正新教育運動：
 教育勅語の発布、教科書の固定化による
 「臣民教育」を徹底しようという
 動きに対し、「新しく」「自由な」
 教育を求めた運動。
 画一的な教育法に統制されたことに
 批判が高まり、最終的に教育目的に
 抵触しない程度に、教育法にある程度
 変更を加えてもよいという改革が
 起こった。

**）確認問題 02 を自己評価し、
 気づいたこと、感じたことをのべよ

■ 5段階自己評価（ 4 / 5 ）

■ 教育の目的のうちの一つに
 「日本国民の一人であることを
 認識する」というものがあるのを
 思い出した。
 いまではその色は薄くなりつつあるが、
 その風潮が強い時代がかつてあった
 ことを実感し、そのときの特色的な
 考え方を知ることができた。